

New Edition UNICORN シリーズを用いた授業レポート

東京都立小平高等学校教諭 高橋 正博



1. はじめに…

本校は、今年で創立 48 年目を迎える普通科の都立高校で、各学年 5 クラスに加え、外国語コースが 2 クラスずつ併設されています。私は、外国語コースで *New Edition UNICORN* シリーズを使用し、第 1 学年次に「英語 I」（4 単位）、第 2 学年次に「英語 II」（4 単位）、第 3 学年次で「リーディング」（3 単位）を教えています。私は、主に英語の“読解力”を高めることを第一のねらいとしてこれらの授業を教えています。私が目指している授業は、基本的に英語圏の「国語の授業」の実践であり、日本語の力を目いっぱい借りて行う「訳読」は一切やしません（“日本語訳”は、先渡しで 4 月当初に教科書 1 冊分を手渡しています！）。

本校は 3 学期制の高校ですが、私の学年では、毎年、検定教科書を 2 学期末までに全て終了することになっています。そして、3 学期には全てペーパーバックを用いた“多読”授業に切り替え、「輪読」や「Retelling」をさせています。昨年度のこの原書講読では、*There's a Boy in the Girls' Bathroom* by Louis Sachar (Yearling, 35,483 語) を各班に交替で small teacher を付けて班別学習しました。

2. 4 月冒頭の「授業オリエンテーション」

4 月の冒頭の授業で、私は生徒全員に 2 枚のプリントを配布し、オリエンテーションを実施しています。1 枚は「シラバス」(学期毎の「授業内容」+「試験範囲」を表にしたもの)で、もう 1 枚は「授業の受け方」に関するものです。この中で、私は、生徒諸君に海外の英語圏で日常的に行われている下記の様なアクティビティを通じて、英語を英語のまま理解する力を養っていく（←英語を和訳する翻訳の授業ではない！）ことを予告します。

- ①「音読活動」（センスグループで区切ったチャック毎の Repeating & Shadowing）
- ②「英問英答」（Questions & Answers）による大意把握
- ③ センテンス定義の英英辞典 COBUILD による

「重要語句」の確認

- ④ Q & A 形式による“中学英語”を使った本文の「パラフレーズ」
- ⑤ 把握した内容の Retelling 活動

また、私の授業用の“大学ノート”を各自必ず 1 冊用意する旨を伝えます。そして、教科書には一切書き込みをせず、板書等は全てこのノートに記入するように指導します（教科書は、生徒が復習をする時に“白文”として読ませる！）。また、“家庭学習”についても触れ、予習をせずして授業に臨むことを絶対に避けるように訴えかけます。

3. 授業に臨む私の基本姿勢：

“ディスカッション”形式の授業と“多読”

私は、英語の授業は、あまり英語力のない生徒にも理解できる“平易”な英語を使って、教員対生徒、あるいは生徒同士の“ディスカッション”（言葉のやり取り）の形式で進めていくべきものと考えています。そのためには、授業における言語活動内容は、自ずと①先生と生徒との「英問英答」を中心とした質疑応答活動と、②既習内容の定着を目的とした「ペアワーク」「グループワーク」の諸活動が主となってきます。教員による一方的な“講義”とは大いに異なる授業となりますから、ここでは教員も生徒も楽しく学習できる環境作り、誰でも質問しやすい雰囲気作りが必要になってきます。

さらにもう一つ、私の授業には欠かせない大変重要な要素がここに付け加わります。それは、毎週週末の 1 時間の授業を割り当てて行っている“多読原書講読”の授業です。教科書は、毎年、必ず 2 学期の期末考査までには全レッスンを終了することになっていますから、毎週末の私の英語の授業は、余程のことがない限り、原書ペーパーバック・リーディングの時間に当てられます。各 HR 教室には、常時 150 冊程度の Scholastic 社のペーパーバック (Grade 1 の絵本から Grades 4-5 のチャプターブックまで) を取り揃えて雑壇型のブックシェルフに置いてあります。このクラスルーム・ライブラリーは、

学年積立金でひとり当たり数冊分ずつ（1冊\$3.00前後のものを）購入して、いわゆる“回し読み”をするものです。当初は、落ち着いて読書に集中できない生徒もいましたが、今では、皆、静かに読む環境がようやく整ってきました。

私が、このように授業に“多読”を取り入れているのには理由があります。それは、本当の意味で英語の読解力を身に付けさせるには、教科書のみで英語学習ではあまりに読む量が少な過ぎるためです（ちなみに、UNICORNの総語数は、「UNICORN I」6,123語、「UNICORN II」が9,172語、「UNICORN READING」が10,050語に過ぎません…）。私のクラスの生徒は、毎週金曜日に Grades 2-4 レベルのペーパーバックを3,500～6,500語程度ずつ読んでいます。最近では、好きな本を週末に読み終えてくる生徒も出てきているので、彼らはひと週末で「UNICORN READING」1冊分を読破している計算になります（語彙レベルは多少低いですが…）。私のクラスの生徒諸君は、教科書を全て終えた後の3学期には、毎時間多読をしています。最低でも毎週これ位は読んでいかないと、真の読解力は付かないと思います。

4. 「UNICORN I」「UNICORN II」「UNICORN READING」を使用した授業

① “BEFORE YOU READ” で導入

各レッスンの最初のページにある“BEFORE YOU READ”は毎回、レッスンの導入で使用しています。まず、ストーリーのプロットをQ & Aで導入し、次に日本語で書かれている「キーワード」の解説（私は個人的に“英語”で書いてほしいと臨んでいます…）を易しい英語に置き換えて、聴き取らせています。私は、常にTeacher's Bookを使用して授業に臨んでいます。Teacher's Bookの英文は英語が苦手な生徒にはやや難し過ぎるため、さらに噛み砕いた平易な英語を自分で考えて導入に使っています。

② センス・グループの“チャンク”で音読（ウォームアップ）

毎回、授業は予習を前提に進めているため、本文の各パート（毎時間1パートずつ進む）に入ると、私はいきなり新出単語の「発音記号」（←単語ではない）を読ませ、次にCDを短いポーズ置いて“チャンク”毎に切りながら、大学ノートに写し取った英文にスラッシュを入れさせます。そして、その後

すぐに「音読練習」に移ります。音読練習は、生徒たちの読む様子を観察し、母音やアクセントに気をつけさせながら、私の後について読ませ、次に起立させ、各自チャンクでもう1回読ませます。

③ 毎回使用する「予習プリント」で、さらにウォームアップ

毎回、新しいレッスンがスタートする前に、私は予習プリント（p.17参照）を2枚セットで配布しています（それぞれB4サイズで1枚ずつ）。これらを使って、ペアで答え合わせをしながら、本文に入るウォームアップをします。

A) 「Comprehension Questions & Answers」

これは、パート毎に本文の内容に関する英問が5～8題ずつ載っているプリントで、生徒はこれらの質問に全てフルセンテンスで答えるものです（Don't forget to answer the questions in a full sentence.）。

B) 「Words & Expressions That You May Not Know」

これも、パート毎に5～8題ずつ単語とフレーズが掲載されていて、その定義の一部を *Collins COBUILD Learner's Dictionary*（Cengage Learning, センテンス定義の辞書で生徒全員が購入している！）を使用して埋めていく自学自習用プリントです。

④ さあ、いよいよ本番！

ウォームアップを十分した後、私は生徒たちに今度はやや細かい質問をして“質疑応答”をしながら、本文を“Paraphrase”して“Retell”していきます。“Paraphrase”と一言で言っても、その場その場でやり方は様々ですが、基本的には次のようなことを実践しています。

A) 新出語句や難解な表現は、中学既習の易しい表現に置き換える（分詞構文や関係詞は、接続詞を用いて置き換える、倒置は普通の語順にする、間接話法は直接話法に変える…）

B) Repetition（繰り返し）を避けるために用いられている同意表現は、元の表現に戻したり、次に変わり得る表現を予測させる

C) 並列されている表現が複数あって混乱しそうな場合（A, B, C, D, and E …）には、いくつ名詞が並んで主語になっているのか等を数字を振って分かりやすくする

⑤そして、最後は“Today’s Useful Phrases”で締め括り

授業のまとめは、再度本文を音読させ、“本日の使えるフレーズ”を確認して終了となります。その日に学習した英文の中から重要な表現を板書し、大学ノートの右頁(ノートの左頁は本文をコピー済み)に1～2行おきにコピーさせます。そして、意味を確認して、あとは「各自家庭学習でこの“間”のスペースにそれぞれのフレーズを使って、自分の“オリジナル”の英文を1～2文書いてくるように」と指示を出して、50分の授業は終了となります。

尚、各章の終了後は、章末の問題の全てと教科書準拠の“WORKBOOK”の重要問題を解き、語彙・文法・語法の補強をしています。

5. 毎週1時間の「多読」の実践

先にも少し触れましたが、外国語コースでは、Scholastic社“Classroom & Library Books”の様々な洋書パックを回し読みさせています。毎週1回、生徒は“自学自習”形式で好きなペーパーバックを選んで50分間フルに使って黙々と読み、最後に“Reading Marathon Card”(4,000語を1kmに換算し、42.195km読破するとカード1枚終了！1枚終了する度にペーパーバック1冊を私のポケットマネーでプレゼントしています！)に記入させています。

私も過去にいろいろと試してみましたが、英語の“多読”は、一部の生徒を除くと、生徒個人に家庭学習の一環として任せることは勧められません。学校で、教員がきちんと「読む本」と「読む時間」を確保して提供してあげないと、絶対に上手くいきません。大量のペーパーバックを提供することは、実はさほど難しいことではないのですが、学校で読む時間を確保することは至難の業です。私は、この大問題を検定教科書を1～2学期で終わらせることで解決しています。

検定教科書は、良質の伝記・エッセイ・論説文が多く、文法も非常に体系的に配列されており、英語を効率よく学習するのに向いていると思います。一方、現在生徒に読ませている児童向けのペーパーバックは、生きた会話表現と生活用語が大変豊富で、訓練すれば、普通の生徒がストーリーの楽しさにつられて200頁の物語でも一気に読んでしまいます(ペーパーバックには“魔力”が潜んでいます！)。私の場合は、この両者の旨い所を貪欲にいただいている授業実践であると言えるでしょう。

6. 最後に：評価について

年に5回実施する「定期考査」(筆記テストのみ50分)では、教科書とWORKBOOKから80点、週末課題(第一学習社『aim』英語長文読解)から20点出題しています。3学期は、ペーパーバックから80点、週末課題から20点、プラス数回のブック・レポートを課しています。生徒の評価については、「定期考査」の素点に加え、各長期休業中に実施する読書課題*(各種Roald Dahlの原書講読)に基づいた「課題テスト」「授業中の取組み」「多読の取組み」を総合的に判断して行っています。

*3学年を通じて、各長期休業中には下記のようなペーパーバックを読ませています。

- ① *The Enormous Crocodile*
(新入生 / 入学前・春休み, 2,859語)
- ② *The Magic Finger* (1年 / 夏休み, 3,594語)
- ③ *Esio Trot* (1年 / 冬休み, 4,225語)
- ④ *The Giraffe and the Pelly and Me*
(2年 / 春休み, 6,823語)
- ⑤ *The Twits* (2年 / 夏休み, 8,107語)
- ⑥ *Fantastic Mr. Fox* (2年 / 冬休み, 9,145語)
- ⑦ *George’s Marvelous Medicine*
(3年 / 春休み, 11,610語)
- ⑧ *James and the Giant Peach*
(3年 / 夏休み, 27,552語)
- ⑨ *Charlie and the Chocolate Factory*
(3年 / 冬休み, 29,743語)
- ⑩ *Matilda* (3年 / 3学期, 39,785語)

LESSON 10: ENDANGERED LANGUAGES

WORDS & EXPRESSIONS THAT YOU MAY NOT KNOW

PART 1

- contain: _____ those things are inside it.
- linguist: A linguist is someone who studies or teaches _____.
- extinct: A species of animal or plant that is extinct _____.
- fluent: Someone who is fluent in a particular language _____.
You can also say that someone speaks fluent French, Chinese, or other language.
- overwhelm: If a group of people overwhelm a place or another group, _____.
- endanger: To endanger something or someone means to put them in a situation _____.
- diversity: The diversity of something is the fact that _____.

PART 2

- document: If you document something, _____ in writing or on film or tape.
- voice: _____, you say what you think or feel.
- carry out: If you carry out a threat or instruction, _____ according to it.
- verge: _____, you are going to do it very soon or it is likely to happen or begin very soon.
- translate: _____, it is said or written again in a different language.
- hand down: If you hand down something such as your knowledge or possessions, _____.

PART 3

- far: If you tell or ask someone what has happened so far, you are telling or asking them what has happened _____ in a situation or story, and often implying that _____.
- universal: A universal is _____ or a characteristic that is present in all members of a particular group.
- tongue: A tongue is a language.
Ex) The French feel passionately _____.

LESSON 7: THE LESSONS OF EASTER ISLAND

QUESTIONS & ANSWERS

* Don't forget to answer the questions in a full sentence!

PART 1

- Q1. How far is Easter Island from South America?
Ans. _____
- Q2. When did Europeans first arrive on Easter Island?
Ans. _____
- Q3. How many huge stone statues did the first Europeans find there?
Ans. _____
- Q4. Who did the Islanders think had built the statues?
Ans. _____
- Q5. According to Thor Heyerdahl, who first came to live on the island?
Ans. _____
- Q6. When was Thor Heyerdahl's theory on Easter Island written?
Ans. _____
- Q7. Do most archaeologists agree with Heyerdahl's theory?
Ans. _____

PART 2

- Q1. Where did the original Polynesians come from?
Ans. _____
- Q2. Why was the environment harsh for them?
Ans. _____
- Q3. What did the first settlers grow and raise for food?
Ans. _____
- Q4. Where did most of the ceremonies to worship the past leaders take place?
Ans. _____
- Q5. If you had to live on only two kinds of food, which two would you choose?
Ans. _____

PART 3

- Q1. Where were the statues made?
Ans. _____
- Q2. How did they move the statues from the quarry to the dhu?
Ans. _____
- Q3. How do we know that Easter Island once had a lot of plants and trees?
Ans. _____